

2-2 各教員が有する業績

○教科及び教科の指導法に関する科目(教科に関する専門的事項)

科目名	担当教員	科目に対応する主な業績
(絵画)		
絵画基礎 日本画 I 日本画 II-I 日本画 II-II 日本画 III-I 絵画基礎 絵画課題演習 絵画研究 I 絵画研究 II	(平山英樹教授)	2016 作家の印象と表現の間ー沖縄の四季の表現をめぐる画面構成、日本画的技法ー 教職課程年報vol.1 2018 日本画作品における様式美、デザイン性という言葉についてー稗田一穂氏の作品から改めて考察することー 教職課程年報vol.2
絵画基礎 油画 III-I 空間デザイン 染 絵画研究 I 絵画研究 II 絵画課題演習	(田中睦治教授)	2017 工芸染色技術を応用した空間表現ー絵画油画分野3年・色材研究における実践授業ー教職課程年報vol.2 2018 マケット作りと空間デザインを応用した卒業制作展示への取り組み 教職課程年報vol.3
油画 II-I 絵画(デ) 絵画課題演習 絵画研究 I	(知花均教授)	2017 絵画研究における版の位置、思考過程についてー創作と授業ー 教職課程年報vol.2 2018 現代美術演習ー授業構築の試論と実践記録ー 教職課程年報vol.3 2018 ドローイング実習の授業構築ため試論 教職課程年報vol.3 2018 平版技法の原理と基礎実習の試論 教職課程年報vol.3 2018 絵画表現の探求のための授業構築の試論と創作ー複数の平面の併置による平面表現ー 教職課程年報
絵画基礎 日本画 I 日本画 II-I 日本画 II-II 日本画 III-I 油画 I 箔 絵画(工) 絵画課題演習 絵画研究 I 絵画研究 II	香川亮准教授	2016 時代の華ー輪「私の木版画展」 aaca 一般社団法人日本建築美術工芸協会会報74号誌、p.10 2017 箔がもたらす表現可能性についてー日本画創作ノートー 教職課程年報vol.2
絵画基礎 日本画 III-I 油画 I	高崎賀朗准教授	2009 美術系大学における基礎造形力の養成についての一考察ー描写表現における造形教育の可能性ー 『美術教育研究』第14号、p.113-127 2017 混合技法(ミクストメディア)による絵画表現の可能性の追求ー絵画技法(油彩画・アクリル画)と版画技法(シルクスクリーン)との混用を基にー 教職課程年報vol.2

デザイン (絵) 絵画(彫) 絵画課題演習 絵画研究 I 絵画研究 II		
絵画基礎 日本画 I 日本画 II-I 日本画 II-II 日本画 III-I デザイン (絵) 装丁実習 絵画基礎 絵画(彫) 絵画課題演習 絵画研究 I 絵画研究 II	関谷理講師	2017 グラフィカルな加工表現における視覚的な伝達効果と平面における活用 教職課程年報vol.2
(彫刻)		
彫刻(絵) 彫刻 I-I 彫刻 II-I 鑄造 彫刻(芸) 彫刻課題演習 彫刻研究 II	(波多野泉教授)	2017 『Exchange Exhibition Vol.9 女子美術大学×沖縄県立芸術大学』図録 P34-P35 観察と肖像彫刻 2018『Representation of Asian Sculpture vol.1 アジアの彫刻の現在』図録P10-P11 青銅鑄物の着色法 2019『Representation of Asian Sculpture vol.2 アジアの彫刻の現在』図録P18-P19 Animalism 老猿
彫刻 I-I 彫刻 II-II 彫刻演習A 彫刻(デ) 彫刻(工) 彫刻課題演習 彫刻研究 I 彫刻研究 II	(砂川泰彦教授)	2017 『Exchange Exhibition Vol.9 女子美術大学×沖縄県立芸術大学』図録 P36-P37 Drawing Clover -素描デッサン 下絵の豊かな表現- 2018『Representation of Asian Sculpture vol.1 アジアの彫刻の現在』図録P12-P13 spring storm II -春の嵐- 2019『Representation of Asian Sculpture vol.2 アジアの彫刻の現在』図録P20-P21 私と植物 -彫刻のモチーフとしての植物-
デッサン 彫刻 II-II 構成 鑄造 彫刻演習B 彫刻課題演習 彫刻研究 I 彫刻研究 II	河原圭佑講師	2018 彫刻における鍛造技法による金属素材の研究 教職課程年報vol.3
(芸術学)		
西洋美術史 A	(尾形希和子教授)	2010-2012 イタリア・ロマネスクの動物誌(ベスティアリオ): 1 2獅子、3ノアの方舟(一角獣と象)、4蛇、5狐『コレンテ』 京都イタリア会館web会報誌

<p>西洋美術史特講</p> <p>西洋芸術批評史研究A</p> <p>西洋芸術批評史研究A</p> <p>西洋美術史特殊演習 I</p> <p>西洋美術史特殊演習 II</p>		<p>2010 Il concetto di 'terra' e la sua rappresentazione: un tentativo di studio comparato tra Italia e Giappone, Atti del XXXIII Convegno di Studi sul Giappone, p.17-45</p> <p>2013 『教会の怪物たち-ロマネスクの図像学』 350頁</p> <p>2015 西洋中世における象の寓意と象徴、沖縄県立芸術大学紀要第23号、1-20頁</p> <p>2017 The Iconography of the Elephant in the Middle Ages: Some Observations on its Anatomy in Visual Art, 沖縄県立芸術大学30周年記念論文集</p> <p>2017 脅威から予言まで(西洋の怪物表象) 徳田和夫編『東の妖怪・西のモンスター-想像力の文化比較-』</p> <p>2018 西洋中世の乳房 武田雅哉編『乳房の図像と記憶』</p>
<p>日本美術史</p> <p>日本美術史特講</p> <p>日本芸術批評史研究A</p> <p>西洋芸術批評史研究B</p> <p>日本美術史特殊演習 I</p> <p>日本美術史特殊演習 II</p>	<p>(小林純子教授)</p>	<p>2007 表象の沖縄-戦前期における紅型イメージの変遷-、『民族芸術』第23号、81-90頁</p> <p>2008 小杉放庵と沖縄-沖縄旅行時の日記と作品を通して-、『沖縄県立芸術大学紀要』第16号、11-30頁</p> <p>2008 日本美術と俳諧-蕪村・呉春、そして栖鳳・玉堂へ-、『彫刻の五・七・五 HAIKU sculpture 2007展』図録、133-146頁</p> <p>2008 異質の美-中川伊作の「南蛮」-、『Collection of Dong Ha Lung-Wong』</p> <p>2009 ある郷土画家の誕生-戦前期の名渡山愛順をめぐる-、『名渡山愛順が愛した沖縄 名渡山愛順展』</p> <p>2010 山田真山による下絵資料(沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館所蔵)について、『沖縄県立芸術大学紀要』第18号、1-19頁</p> <p>2011 宮良瑛子-生命と平和を見つめて-、『宮良瑛子作品集』、10-16頁</p> <p>2011 排除事件の構造-「アトミックサンシャイン」in沖縄展と「石川文洋写真展」、沖縄県立美術館検閲抗議の会『アート・検閲、そして天皇「アトミックサンシャイン」in沖縄展が隠蔽したもの』</p> <p>2012 玉那覇正吉『竜 浮彫』-彫刻と絵画のはざままで-、『沖縄県立芸術大学紀要』第20号、1-12頁</p> <p>2013 沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館所蔵の山田真山下絵資料について、『山田真山が描いた世界』展図録、35-38頁</p>
<p>一般芸術学</p> <p>美学</p> <p>比較美学研究A</p> <p>比較美学特殊演習 I</p> <p>比較美学特殊演習 II</p>	<p>喜屋武盛也准教授</p>	<p>2011 森林美学」美学芸術学の視点から、『北方林業』63-1、14-17</p> <p>2011 遠近法と象徴形式、『沖縄県立芸術大学紀要』19、1-9</p> <p>2012 森林美学の歴史と射程、西村清和(編著)『日常性の環境美学』、125-150</p> <p>2013 カッシーラー哲学と「空間」の問題、21、77-83</p>
<p>西洋美術史B</p> <p>芸術学特講</p> <p>比較芸術学特殊研究A</p>	<p>土屋誠一准教授</p>	<p>2012 『現代アーティスト辞典 クーンズ、ハーストから村上隆まで 1980年代以後のアート入門』(共著)</p> <p>2012 『実験場 1950s』(共著)</p> <p>2013 『現代アートの巨匠 先駆者たちのく作品・ことば・人生』(共著)</p> <p>2013 『ラッセンとは何だったのか? 消費とアートを越えた「先」』(共著)</p> <p>2013 『質問する その1』(共著)</p> <p>2014 『現代アートの本当の学び方』(共著)</p> <p>2014 『現代アートの本当の見方』(共著)</p> <p>2015 『キュレーションの現在』(共著)</p> <p>2015 『『美少女戦士セーラームーン』研究論集 少女マンガの表象研究会研究報告書』(共著)</p> <p>2015 『日本美術全集 第19巻 拡張する戦後美術 戦後〜一九九五』(共著)</p> <p>2015 『Life is like a Melody 麻枝准トリビュート』(共著)</p> <p>2016 『disPLACEMENT「場所」の置換 vol.3 佐々木友輔 New Film(TRAILer)』(共編著)</p>

		<p>2016 『TOM MAX ART WORKS 真喜志勉作品集』(共編著)</p> <p>2007 高松次郎と「影」の論争—予備的スケッチ、『subject』6号</p> <p>2008 小林秀雄『近代繪畫』について—小林秀雄の美術評論とその方法、『多摩美術大学研究紀要』22号</p> <p>2008 「横須賀」、「私」、「女」、そして「石内都」石内都論、『石内都展 ひろしま/ヨコスカ』</p> <p>2009 写真史・68年「写真100年」再考、『photographer's gallery press』8号</p> <p>2009 「ガリレオ」のゆくえ「地図的情報環境下における「観測」、『現代思想』2009年9月号</p> <p>2009 企図された「不親切」としての記録集—『写真万葉録・筑豊』、『文化資源としての「炭鉱」展「ヤマ」の美術・写真・グラフィック・映画』</p> <p>2011 土地としての写真 阿波根昌鴻の写真について、『photographers' gallery press』10号</p> <p>2011 景観をめぐる時間と空間の政治学 宮本常一／写真／地図、『現代思想』2011年11月臨時増刊号</p> <p>2012 高松次郎と「影」の論争予備的スケッチ(ver.1.5)、『芸術批評誌「REAR」』27号</p> <p>2013 「時」のモニタージュ 東松照明論、『現代思想』2013年5月臨時増刊号</p> <p>2013 見出された「記録」の在処「写真100年」再考、『日本写真の1968 1966-1974 沸騰する写真の群れ[展覧2013「ウォール・オブ・サウンド」としてのヴェルヴェット・アンダーグラウンド、『ユリイカ』2014年1月号</p> <p>2014 シンポジウム「日本写真の1968」全記録、『東京都写真美術館 紀要』13号(共著)</p> <p>2015 人間存在の純粋性に受けて 福沢一郎「日本人はどこからきたか」及び「日本文化のあけぼの」連作について、『福沢一郎展 沖縄の子どもたちへ贈られた34点 平成26年度那覇市文化芸術ふれあい事業』</p> <p>2016 一九四五以前の「沖縄美術」?、『ゲンロン3 脱戦後美術』</p>
<p>東洋美術史</p> <p>東洋美術史特講</p> <p>東洋芸術批評史研究A</p> <p>東洋美術史特殊演習 I</p> <p>東洋美術史特殊演習 II</p>	<p>金恵信准教授</p>	<p>2008 『現代韓国美術における女性と表現—ユン・ソクナムの「作業」』</p> <p>2008 「植民地朝鮮」のモダンと伝統—新女性と妓生の表象—、『都市的遭遇とコスモポリタンな社会をめぐる学際的研究(Ⅱ)』</p> <p>2008 饒舌な記憶の効用(香川檀/小勝禮子著『記憶の網目をたぐる アートとジェンダーをめぐる対話』(彩樹社、2007年)書評)、『ジェンダー史学』第4号</p> <p>2009 繰りかえしと語りのしぐさをかたちにする、李静和編『残傷の音—「アジア・政治・アート」の未来へ』</p> <p>2011 表象をつくる女性としてのアーティスト—韓国近現代女流作家10人、『20世紀の女性美術家と視覚表象の調査研究—アジアにおける戦争とディアスポラの記憶—』</p> <p>2010 「植民地期韓国」という表象空間—「遊女」と「良妻」の住まう地、池田忍・小林緑編『視覚表象と音楽』</p> <p>2011 リアル・ワールドに切れ目を(映像作家出光真子論)、金子遊編著『フィルムメーカーズ 個人映画のつくり』</p> <p>2011 韓国近現代美術の女性作家、『女子美術大学創立110周年記念事業シンポジウム「現代アジアの女性作家」</p> <p>2013 植民地期韓国のモダンガールと遊女、北原恵編著『アジアの女性身体はいかに描かれたか 視覚表象と戦』</p> <p>2013 韓国国立現代美術館の特壽宮プロジェクト展、『美連協ニュース』No.117</p> <p>2013 韓国近代期の美術、岩波書店辞典編集部編『岩波世界人名大辞典』</p> <p>2014 古都に浮かぶ現代美術の箱舟—韓国国立現代美術館、『美術手帖』2月分</p> <p>2014 故郷と異郷を行き来するブラッシュ・ストローク—在独韓国アーティスト、ソン・ヒョンスクの絵画、『「移動」から見た女性美術家と視覚表象の研究』</p> <p>2015 表現をはじめた女性 ドイツにおける外国人労働者としてのアジア女性たちの調査研究(共著)、平成24~25年度 独立行政法人日本学術振興会・科学研究費補助金 基盤研究(c)研究報告書</p>

		<p>2015 「朝鮮美術展覧会」にみる近代都市「京城」のおんなたち、『20世紀前半、二重空間の韓国に生きた日韓の美術科たり』</p> <p>2015 歴史に合わせる顔をもつ、沖縄タイムス2015年8月5日「記憶と肖像－沖縄と韓国・写真交流展」</p> <p>2016 「循環する世界 山城知佳子の芸術」書評、沖縄タイムス</p> <p>2017 韓国の西洋美術史－大学美術史学科と近年の研究、『西洋美術：作家・表象・研究－ジェンダー論の視座から』</p>
(デザイン)		
<p>デザイン演習B</p> <p>デザインⅡ－Ⅰ</p> <p>デザインⅡ－Ⅱ</p> <p>デザインⅢ－Ⅰ</p> <p>木工芸基礎</p> <p>生活環境デザイン研究ⅠA</p> <p>生活環境デザイン研究ⅠB</p> <p>生活環境デザイン研究ⅡA</p> <p>生活環境デザイン研究ⅡB</p> <p>デザイン課題演習</p>	(座波嘉克教授)	<p>2018 デザインと木工・工芸－グッドデザイン賞応募作品に見るデザインと木工・工芸の意味－ 教職課程年報 vol.3</p>
<p>デザイン(絵)</p> <p>デザイン(彫)</p> <p>デザイン(芸)</p> <p>デザインⅠ</p> <p>デザインⅡ－Ⅱ</p> <p>デザインⅢ－Ⅱ</p> <p>デザイン(工)</p> <p>視覚伝達論B(映像)</p> <p>視覚伝達デザイン研究ⅠA</p> <p>視覚伝達デザイン研究ⅠB</p> <p>デザイン課題演習</p>	(仲本賢教授)	<p>2008 沖縄映画のすすめ、『THE OKINAWA No.3』</p> <p>2010 写真集『栄町－ポラントリュイ 肖像写真集』</p> <p>2012 写真集『メルカトル・パノラマ写真集』</p> <p>2017 肖像写真展における創作ノート－美術交流事業「ジュラ－沖縄」の実施の経緯と作品制作の報告－教職課</p>
<p>デザイン(絵)</p> <p>デザイン(彫)</p> <p>デザイン(芸)</p> <p>デザイン演習A</p> <p>デザインⅠ</p> <p>デザインⅡ－Ⅱ</p> <p>デザインⅢ－Ⅱ</p> <p>デザイン(工)</p> <p>視覚伝達論A(印刷)</p> <p>視覚伝達デザイン研究ⅠA</p> <p>視覚伝達デザイン研究ⅠB</p> <p>視覚伝達デザイン研究ⅡA</p> <p>視覚伝達デザイン研究ⅡB</p> <p>デザイン課題演習</p>	(赤嶺雅教授)	<p>2017 視覚伝達機能を活用したビジュアル表現－実践的なデザイン展開のための基礎的理解－ 教職課程年報 vol.2</p>
<p>素描(デ)</p> <p>色彩構成</p> <p>デザインⅡ－Ⅱ</p> <p>デザインⅢ－Ⅰ</p> <p>ビジュアルデザイン論</p> <p>視覚伝達デザイン研究ⅠA</p>	笹原浩造准教授	<p>2018 化粧品の色匠デザイン－パッケージデザインの機能構造とアートディレクションとの共創表現－ 教職課程年報vol.3</p>

<p>視覚伝達デザイン研究ⅠB 視覚伝達デザイン研究ⅡA 視覚伝達デザイン研究ⅡB デザイン課題演習</p>		
<p>デザイン演習B</p> <p>立体造形(デ) 空間構成 デザインⅡ-I デザインⅡ-II デザインⅢ-I デザインⅢ-II 図法及び製図A 図法及び製図B 生活環境デザイン研究ⅠA 生活環境デザイン研究ⅠB 生活環境デザイン研究ⅡA 生活環境デザイン研究ⅡB デザイン課題演習</p>	宮里武志准教授	<p>2018 実践的空間構成の考察と沖縄の景観に配慮した環境デザインーインテリアデザイン・建築デザイン・ランドスケープー 教職課程年報vol.3</p>
<p>デザイン演習A</p> <p>デザインⅡ-I デザインⅡ-II 視覚伝達デザイン研究ⅠA 視覚伝達デザイン研究ⅠB 視覚伝達デザイン研究ⅡA 視覚伝達デザイン研究ⅡB デザイン課題演習</p>	又吉浩准教授	<p>2018 映像表現による情報メディアデザインの表現と技法ーアニメ動画・キャラクター・絵本・Web・ミックスメディアの展開ー 教職課程年報vol.3</p>
(工芸・染織)		
<p>工芸演習A デザイン(工)</p> <p>工芸Ⅱ</p> <p>染Ⅰ 染Ⅱ 染研究Ⅰ 染研究Ⅱ 染課題演習</p>	(渡名喜はるみ教授)	<p>2014 展評 謝敷宏作品展、琉球新報 2014 古典紅型の色彩、沖縄染織研究会通信 Vol.71 2018 工芸作品のプロダクトーオリジナルテキスタイルの特性を生かし商品企画・開発のプロセスを学ぶー 教職課程年報vol.3</p>
<p>工芸Ⅰ</p> <p>織Ⅰ 織Ⅱ</p> <p>織研究Ⅰ 織研究Ⅱ 織課題演習</p>	(真栄城興茂教授)	<p>2011 人・ものとの出会い、沖縄民藝協会だより第9号、p.3 2013「第143回 日本民藝夏期学校 沖縄やんばる会場」報告、民藝 2013年11月号、p.16-18 2016「志村ふくみ 母衣への回帰」展評、沖縄タイムス 2016年5月19日、14面 2016「国展工房沖縄展」展評、沖縄タイムス2016年9月27日、14面 沖縄の天然染料ー琉球藍についてー 教職課程年報vol.2</p>
<p>工芸(絵)</p>	(名護朝和教授)	<p>2012 沖縄の伝統色に関する調査研究ー沖縄の色とは、その産業化を目指してー、沖縄県立芸術大学紀要第20号、P.19-22</p>

<p>工芸(芸) 工芸(デ) 版画 工芸 I 染 I 染 II 染研究 I 染研究 II 染課題演習</p>		<p>2014 村山佳津典 染織展 工芸あるべき姿問う、沖縄タイムス2014年12月1日 2013 テーマ「紅型染」ほか、沖縄染織研究会通信 Vol.62 2018 沖縄の伝統的工芸技法に関する制作研究－藍型(エーガタ)による染色表現－教職課程年報vol.3</p>
<p>工芸演習A デザインと素材 織研究 I</p>	<p>花城美弥子准教授</p>	<p>2016 着尺制作から着物への立体的表現の実践に向けて－織・着物ファッションショー「縞・着物の粋」－教職課程年報vol.1 2017 織物設計・デザインに必要な基礎的情報のデータ化－創作テキスタイルデザインの展開に向けての実践資料－教職課程年報vol.2 2018 羊毛の繊維素材としての特質を用いたデザイン表現研究－帽子のデザイン・作品制作に向けての実践資料－</p>
<p>(工芸・陶芸)</p>		
<p>工芸(絵) 工芸(彫) 工芸(芸) 工芸演習B 工芸(デ) 立体造形(工) 工芸 I 工芸 II 陶芸 I 陶芸 II 陶磁器研究 I 陶磁器研究 II 陶磁器課題演習</p>	<p>(山田聡教授)</p>	<p>2011 地域連携による実践的芸術教育－大学と地域の交流プログラム－、平成22年度「沖縄県立芸術大学教育研究支援基金」採択事業、p.24-28 2015 展評「現代沖縄陶芸の歩み」展、沖縄タイムス 2016 展評「キムホノ展」、琉球新報 2017 原材料研究－伝統的なシルグスイのものと製法検証－(共著) 教職課程年報vol.2</p>
<p>(工芸・漆芸)</p>		
<p>工芸 I 漆芸 I 漆芸 II 漆工研究 I 漆工研究 II</p>	<p>(水上修教授)</p>	<p>2012 【叩き塗】【玉虫塗】など、漆工史学会編『漆工辞典』 2013 文化欄「日本伝統漆芸展指南」、沖縄タイムス 2015 琉球漆器、淡交別冊『茶の漆 真塗・蒔絵・鎌倉彫・根来など』愛蔵版No.67、p.105 2017 漆芸の作品制作における素材・技法・表現とその指導 I－発想から髹漆まで－ 教職課程年報vol.2 2017 漆芸の作品制作における素材・技法・表現とその指導 II－加飾－ 教職課程年報vol.2</p>
<p>工芸 II 漆芸 I 漆芸 II 漆工研究 I 漆工研究 II 漆工課題演習</p>	<p>(糸数政次教授)</p>	<p>2012 琉球漆器の歴史・技術技法について、季刊沖縄第43号 2011 県産材による食洗機対応食器開発事業、沖縄県工芸技術支援センター年報(平成23年) 2009 堆錦加飾の簡素化に関する研究、沖縄県工芸技術支援センター年報(平成21年)</p>

<p>工芸演習B</p> <p>デザイン(工)</p> <p>立体構成</p> <p>工芸Ⅰ</p> <p>工芸Ⅱ</p> <p>漆芸Ⅰ</p> <p>漆芸Ⅱ</p> <p>漆工研究Ⅰ</p> <p>漆工研究Ⅱ</p> <p>漆工課題演習</p>	<p>當眞茂准教授</p>	<p>2017 18～19世紀の琉球漆器復元をとおしての、これからの漆器デザインへの展望－撮影機器やコンピュータを使用した調査・研究及び復元制作－教職課程年報 vol.2</p>
---	---------------	---

科目名	担当教員	科目に対応する主な業績
(音楽表現第1)		
ソルフェージュⅠ(表) ソルフェージュⅡ(表) ソルフェージュⅢ(表) ソルフェージュⅣ(表) 和声Ⅰ(表) 和声Ⅱ(表) 和声Ⅲ(表) 和声Ⅳ(表) 作曲実技Ⅰ 作曲実技Ⅱ 作曲実技Ⅲ 作曲実技Ⅳ 作曲演習Ⅰ 作曲演習Ⅱ 作曲演習Ⅲ 作曲演習Ⅳ 楽曲分析Ⅰ(表) 楽曲分析Ⅱ(表) ソルフェージュⅠ(文) ソルフェージュⅡ(文) ソルフェージュⅢ(文) ソルフェージュⅣ(文) 和声Ⅰ(文) 和声Ⅱ(文) 和声Ⅲ(文) 和声Ⅳ(文) 楽曲分析Ⅰ(文) 楽曲分析Ⅱ(文) ソルフェージュⅠ(琉) ソルフェージュⅡ(琉) ソルフェージュⅢ(琉) ソルフェージュⅣ(琉) 楽曲分析研究 作曲実習Ⅰ 作曲実習Ⅱ 作曲演習Ⅰ 作曲演習Ⅱ 専門関連実技演習Ⅰ 専門関連実技演習Ⅱ 楽曲構造特殊研究 作曲実習Ⅰ 作曲実習Ⅱ 作曲演習Ⅰ 作曲演習Ⅱ	(近藤春恵教授)	2017 音楽基礎教育の実践と課題 ―総合的な音楽力としてのソルフェージュをめざして―(共著) 教職課程年報vol.2 2017 音楽基礎教育の実践と課題 ―創造性のある和声授業の実践―(共著) 教職課程年報vol.2 2018 「鍵盤楽器実技」における取組み―ピアノ実技を通じた現代音楽の理解― 教職課程年報vol.3
声楽実技Ⅰ 声楽実技Ⅱ 声楽実技Ⅲ 声楽実技Ⅳ 副科声楽Ⅰ(表) 副科声楽Ⅱ(表) 声楽実技Ⅰ 声楽実技Ⅱ 声楽実技Ⅲ 声楽実技Ⅳ 副科声楽Ⅰ(表)	(片桐仁美教授)	2017 声楽における言語の相違について―イタリア語、ドイツ語、フランス語歌唱を中心に― 教職課程年報vol.2

<p>副科声楽Ⅱ(表) 副科声楽Ⅰ(文) 副科声楽Ⅱ(文) 副科声楽Ⅰ(文) 副科声楽Ⅱ(文) 副科声楽Ⅰ(琉) 副科声楽Ⅱ(琉) 副科声楽Ⅰ(琉) 副科声楽Ⅱ(琉) 声楽研究Ⅰ 声楽研究Ⅱ オペラ総合実習A-Ⅰ オペラ総合実習A-Ⅱ 声楽特殊研究A 声楽特殊研究B 協奏曲研究 声楽研究Ⅰ 声楽研究Ⅱ オペラ総合実習A-Ⅰ オペラ総合実習A-Ⅱ 声楽特殊研究A 声楽特殊研究B 協奏曲研究 声楽実技演習 声楽実技演習 声楽実技演習 声楽実技演習</p>		
<p>声楽実技Ⅰ 声楽実技Ⅱ 声楽実技Ⅲ 声楽実技Ⅳ 副科声楽Ⅰ(表) 副科声楽Ⅱ(表) 指揮法(表) 副科声楽Ⅰ(文) 副科声楽Ⅱ(文) 指揮法(文) 副科声楽Ⅰ(琉) 副科声楽Ⅱ(琉) 指揮法(琉) 声楽研究Ⅰ 声楽研究Ⅱ オペラ総合実習A-Ⅰ オペラ総合実習A-Ⅱ 声楽特殊研究A 声楽特殊研究B 協奏曲研究 声楽実技演習</p>	<p>(五郎部俊朗教授)</p>	<p>2016 オーケストラ(器楽合奏)・合唱及び独唱指導についての考察ーモーツァルトレクイエムによる試みー(共著) 教職課程年報vol.1 2017 初歩的な声楽学習者への、イタリア歌曲指導についての考察ーイタリア語の発音指導に着目してー 教職課程年報vol.2</p>
<p>声楽実技Ⅰ 声楽実技Ⅱ 声楽実技Ⅲ 声楽実技Ⅳ 合唱Ⅰ 合唱Ⅱ 合唱Ⅲ 合唱Ⅳ 副科声楽Ⅰ(表) 副科声楽Ⅱ(表) 副科合唱Ⅰ 副科合唱Ⅱ 副科声楽Ⅰ(文) 副科声楽Ⅱ(文)</p>	<p>山内昌也准教授</p>	<p>2016 オーケストラ(器楽合奏)・合唱及び独唱指導についての考察ーモーツァルトレクイエムによる試みー(共著) 教職課程年報vol.1</p>

<p> 声楽研究 I 声楽研究 II オペラ総合実習A- I オペラ総合実習A- II 声楽特殊研究A 声楽特殊研究B 協奏曲研究 声楽実技演習 </p>		
<p> ソルフェージュ I (表) ソルフェージュ II (表) ソルフェージュ III (表) ソルフェージュ IV (表) 和声 I (表) 和声 II (表) 和声 III (表) 和声 IV (表) 作曲実技 I 作曲実技 II 作曲実技 III 作曲実技 IV 作曲演習 I 作曲演習 II 作曲演習 III 作曲演習 IV 楽曲分析 I (表) 楽曲分析 II (表) ソルフェージュ I (文) ソルフェージュ II (文) ソルフェージュ III (文) ソルフェージュ IV (文) 和声 I (文) 和声 II (文) 和声 III (文) 和声 IV (文) 楽曲分析 I (文) 楽曲分析 II (文) ソルフェージュ I (琉) ソルフェージュ II (琉) ソルフェージュ III (琉) ソルフェージュ IV (琉) 楽曲分析研究 作曲実習 I 作曲実習 II 作曲演習 I 作曲演習 II 楽曲構造特殊研究 </p>	<p>土井(八木澤)智恵子准教授</p>	<p>2019 担当授業科目「楽曲分析」におけるフォルマシオン・ミュージカルの試みーオリヴィエ・メシアンの分析を中心にー 教職課程年報vol.4</p>
<p> 声楽実技 I 声楽実技 II 声楽実技 III 声楽実技 IV 副科声楽 I (表) 副科声楽 II (表) 副科声楽 I (文) 副科声楽 II (文) 副科声楽 I (琉) 副科声楽 II (琉) 声楽研究 I 声楽研究 II オペラ総合実習A- I オペラ総合実習A- II 声楽特殊研究A 声楽特殊研究B 協奏曲研究 </p>	<p>松田奈緒美准教授</p>	<p>2017 創作歌曲「鐘」ー組踊「執心鐘入」歌舞伎「娘道成寺」によせてー 教職課程年報vol.2</p>

声楽実技演習		
(音楽表現・第2)		
弦楽実技Ⅰ 弦楽実技Ⅱ 弦楽実技Ⅲ 弦楽実技Ⅳ 弦楽合奏Ⅰ 弦楽合奏Ⅱ 弦楽合奏Ⅲ 弦楽合奏Ⅳ 指揮法(表) 指揮法(文) 指揮法(琉) 室内楽実習Ⅰ 管弦打楽研究Ⅰ 管弦打楽研究Ⅱ オーケストラ研究Ⅰ オーケストラ研究Ⅱ 協奏曲研究	(庭野隆之教授)	2016 オーケストラ(器楽合奏)・合唱及び独唱指導についての考察ーモーツァルトレクイエムによる試みー(共著) 教職課程年報vol.1 2017 器楽合奏における指導法の研究ー弦楽合奏を例にー(共著) 教職課程年報vol.2
管打楽実技Ⅰ 管打楽実技Ⅱ 管打楽実技Ⅲ 管打楽実技Ⅳ 管打合奏Ⅰ 管打合奏Ⅱ 管打合奏Ⅲ 管打合奏Ⅳ 指揮法(表) 器楽合奏Ⅰ 器楽合奏Ⅱ 指揮法(文) 指揮法(琉) 室内楽実習Ⅰ 管弦打楽研究Ⅰ 管弦打楽研究Ⅱ オーケストラ研究Ⅰ オーケストラ研究Ⅱ 協奏曲研究	(阿部雅人教授)	2016 沖縄県における器楽合奏指導と管打楽実技指導の実践的課題ー2016年度吹奏楽課題曲講習会、実技講習会からー(共著) 教職課程年報vol.1 2017 器楽合奏のための実技研究法および指導法についてー2017年度吹奏楽課題曲講習会における指導を題材にしてー(共著) 教職課程年報vol.2 2017 室内楽から得られる実技指導への応用についての一考察ー木管五重奏の実践からー(共著) 教職課程年報vol.2
副科ピアノⅠ(表) 副科ピアノⅡ(表) 副科ピアノⅢ(表) 副科ピアノⅣ(表) ピアノ実技Ⅰ ピアノ実技Ⅱ ピアノ実技Ⅲ ピアノ実技Ⅳ ピアノ重奏Ⅰ ピアノ重奏Ⅱ 伴奏法Ⅰ 伴奏法Ⅱ 伴奏法Ⅲ 伴奏法Ⅳ 副科ピアノⅠ(文) 副科ピアノⅡ(文) 副科ピアノⅢ(文) 副科ピアノⅣ(文) 副科ピアノⅠ(琉) 副科ピアノⅡ(琉)	(小杉裕一教授)	2019 大学におけるピアノ協奏曲作品の学習意義 教職課程年報vol.4

副科ピアノⅢ(琉) 副科ピアノⅣ(琉) ピアノ研究Ⅰ ピアノ研究Ⅱ 声楽曲伴奏法 室内楽実習Ⅰ 協奏曲研究 器楽実技演習		
弦楽実技Ⅰ 弦楽実技Ⅱ 弦楽実技Ⅲ 弦楽実技Ⅳ 弦楽合奏Ⅰ 弦楽合奏Ⅱ 弦楽合奏Ⅲ 弦楽合奏Ⅳ 室内楽実習Ⅰ 管弦打楽研究Ⅰ 管弦打楽研究Ⅱ オーケストラ研究Ⅰ オーケストラ研究Ⅱ 協奏曲研究	(岡田光樹教授)	2016 オーケストラ(器楽合奏)・合唱及び独唱指導についての考察ーモーツァルトレクイエムによる試みー(共著) 教職課程年報vol.1 2017 器楽合奏における指導法の研究ー弦楽合奏を例にー(共著) 教職課程年報vol.2
管打楽実技Ⅰ 管打楽実技Ⅱ 管打楽実技Ⅲ 管打楽実技Ⅳ 管打合奏Ⅰ 管打合奏Ⅱ 管打合奏Ⅲ 管打合奏Ⅳ 器楽合奏Ⅰ 器楽合奏Ⅱ 室内楽実習Ⅰ 管弦打楽研究Ⅰ 管弦打楽研究Ⅱ オーケストラ研究Ⅰ オーケストラ研究Ⅱ 協奏曲研究	澤村(井野邊)康恵准教授	2016 オーケストラ(器楽合奏)・合唱及び独唱指導についての考察ーモーツァルトレクイエムによる試みー(共著) 教職課程年報vol.1 2016 沖縄県における器楽合奏指導と管打楽実技指導の実践的課題ー2016年度吹奏楽課題曲講習会、実技講習会からー(共著) 教職課程年報vol.1 2017 器楽合奏のための実技研究法および指導法についてー2017年度吹奏楽課題曲講習会における指導を題材にしてー(共著) 教職課程年報vol.2 2017 管打楽における実技指導についてー平成29年度沖縄県吹奏楽連盟主催実技講習会からー 教職課程年報vol.2 2017 室内楽から得られる実技指導への応用についての一考察ー木管五重奏の実践からー(共著) 教職課程年報vol.2
管打楽実技Ⅰ 管打楽実技Ⅱ 管打楽実技Ⅲ 管打楽実技Ⅳ 管打合奏Ⅰ 管打合奏Ⅱ 管打合奏Ⅲ 管打合奏Ⅳ 器楽合奏Ⅰ 器楽合奏Ⅱ 室内楽実習Ⅰ 管弦打楽研究Ⅰ 管弦打楽研究Ⅱ オーケストラ研究Ⅰ	倉橋健准教授	2016 オーケストラ(器楽合奏)・合唱及び独唱指導についての考察ーモーツァルトレクイエムによる試みー(共著) 教職課程年報vol.1 2016 沖縄県における器楽合奏指導と管打楽実技指導の実践的課題ー2016年度吹奏楽課題曲講習会、実技講習会からー(共著) 教職課程年報vol.1 2017 器楽合奏のための実技研究法および指導法についてー2017年度吹奏楽課題曲講習会における指導を題材にしてー(共著) 教職課程年報vol.2

オーケストラ研究Ⅱ 協奏曲研究		
副科ピアノⅠ(表) 副科ピアノⅡ(表) 副科ピアノⅢ(表) 副科ピアノⅣ(表) ピアノ実技Ⅰ ピアノ実技Ⅱ ピアノ実技Ⅲ ピアノ実技Ⅳ ピアノ重奏Ⅰ ピアノ重奏Ⅱ 伴奏法Ⅰ 伴奏法Ⅱ 伴奏法Ⅲ 伴奏法Ⅳ 副科ピアノⅠ(文) 副科ピアノⅡ(文) 副科ピアノⅢ(文) 副科ピアノⅣ(文) 副科ピアノⅠ(琉) 副科ピアノⅡ(琉) 副科ピアノⅢ(琉) 副科ピアノⅣ(琉) ピアノ研究Ⅰ ピアノ研究Ⅱ ピアノ特殊研究 声楽曲伴奏法 室内楽実習Ⅰ 協奏曲研究 器楽実技演習	小沢(小澤)麻由子准教授	2016 学生による演奏機会の創造と実践―「ピアノ演奏実習」の実施報告と成果の検証― 教職課程年報vol.1 2017 ドビュッシー 前奏曲集第1巻 演奏の手引きとその指導法―デュラン社新版への考察①― 教職課程年報vol.2
管打楽実技Ⅰ 管打楽実技Ⅱ 管打楽実技Ⅲ 管打楽実技Ⅳ 管打合奏Ⅰ 管打合奏Ⅱ 管打合奏Ⅲ 管打合奏Ⅳ 器楽合奏Ⅰ 器楽合奏Ⅱ 室内楽実習Ⅰ 管弦打楽研究Ⅰ 管弦打楽研究Ⅱ オーケストラ研究Ⅰ オーケストラ研究Ⅱ 協奏曲研究	屋比久(米須)理夏准教授	2016 オーケストラ(器楽合奏)・合唱及び独唱指導についての考察―モーツァルトレクイエムによる試み―(共著) 教職課程年報vol.1 2016 沖縄県における器楽合奏指導と管打楽実技指導の実践的課題―2016年度吹奏楽課題曲講習会、実技講習会から―(共著) 教職課程年報vol.1 2016 打楽器基礎練習プログラムの開発実践レポート その1―小学校における指導実践―教職課程年報vol.1 2017 器楽合奏のための実技研究法および指導法について―2017年度吹奏楽課題曲講習会における指導を題材にして―(共著) 教職課程年報vol.2 2017 器楽(打楽器)指導法についての考察―吹奏楽部における打楽器基礎練習の実態調査を通して― 教職課程年報vol.2 2019 打楽器を用いた活動支援の可能性の検証―不登校の児童生徒を対象にした自立援助センターにおける実践を通して― 教職課程年報vol.4
(琉球芸能)		
琉球古典音楽実技Ⅰ 琉球古典音楽実技Ⅱ 関連歌三線実技Ⅰ 関連歌三線実技Ⅱ 地謡実技Ⅰ 地謡実技Ⅱ	(仲嶺伸吾教授)	2017 琉球古典音楽安富祖流の伝承方法と今後の課題―作田節に様式譜を付ける― 教職課程年報vol.2

琉球古典音楽研究Ⅰ 琉球古典音楽研究Ⅱ		
琉球舞踊組踊研究Ⅰ 琉球舞踊組踊研究Ⅱ	(高嶺久枝教授)	2016 ベトナム・フエ芸術祭参加から見る芸能のグローバル化の現状と課題 教職課程年報vol.1 2017 民俗芸能「国頭捌理(くんじゃんさばくい)」考—歌・踊りの源流分析から創作へ— 教職課程年報vol.2
琉球古典音楽実技Ⅰ 琉球古典音楽実技Ⅱ 関連歌三線実技Ⅰ 関連歌三線実技Ⅱ 地謡実技Ⅰ 地謡実技Ⅱ 琉球古典音楽研究Ⅰ 琉球古典音楽研究Ⅱ	(島袋功教授)	
琉球舞踊組踊研究Ⅰ 琉球舞踊組踊研究Ⅱ	比嘉いずみ准教授	
副科実技Ⅰ(和楽器) 副科実技Ⅱ(和楽器) 琉球古典音楽実技Ⅰ 琉球古典音楽実技Ⅱ 関連歌三線実技Ⅰ 関連歌三線実技Ⅱ 地謡実技Ⅰ 地謡実技Ⅱ 琉球古典音楽研究Ⅰ 琉球古典音楽研究Ⅱ 声乐実技演習	山内昌也准教授	2016 琉球古典音楽と四季 教職課程年報vol.1 2017 琉球古典音楽「かぎやで風節」の表現法と分析—「演奏の手引き工四」と「声乐練習用楽譜」の構築— 教職課程年報vol.2
琉球舞踊組踊研究Ⅰ 琉球舞踊組踊研究Ⅱ	阿嘉修准教授	
(音楽文化)		
民族音楽学A 民族音楽学B 演習Ⅰ 演習Ⅱ 原典講読 民族音楽学研究 課題演習	(小西潤子教授)	

<p>副科実技Ⅰ(和楽器)</p> <p>副科実技Ⅱ(和楽器)</p> <p>日本・東洋音楽史</p> <p>副科実技Ⅰ(和楽器)</p> <p>副科実技Ⅱ(和楽器)</p> <p>日本音楽史A</p> <p>日本音楽史B</p> <p>日本・東洋音楽史</p> <p>演習Ⅰ</p> <p>演習Ⅱ</p> <p>原典講読</p> <p>日本音楽史研究</p> <p>課題演習</p> <p>琉球舞踊組踊研究Ⅰ</p> <p>琉球舞踊組踊研究Ⅱ</p>	<p>(高嶺久枝教授)</p>	<p>2016 ベトナム・フエ芸術祭参加から見る芸能のグローバル化の現状と課題 教職課程年報vol.1</p> <p>2017 民俗芸能「国頭捌理(くんじゃんさばくい)」考—歌・踊りの源流分析から創作へ— 教職課程年報vol.2</p>
<p>西洋音楽史講義A</p> <p>西洋音楽史講義B</p> <p>課題演習</p> <p>西洋音楽史研究</p> <p>演習Ⅰ</p> <p>演習Ⅱ</p> <p>原典講読</p>	<p>倉橋玲子准教授</p>	<p>2017 西洋音楽史における時代様式と用語理解(1)—演奏による生きた音楽史理解へ向けて— 教職課程年報vol.2</p>
<p>楽劇理論A</p> <p>楽劇理論B</p> <p>課題演習</p> <p>演習Ⅰ</p> <p>演習Ⅱ</p> <p>原典講読</p> <p>民族舞踊学研究</p>	<p>呉屋淳子准教授</p>	<p>(著書)</p> <p>1.『震災後の地域文化と被災者の民俗誌』平成30年1月 新泉社</p> <p>2.『学校芸能の民族誌——創造される八重山芸能』平成29年2月 森話社</p> <p>3.『세계 연극교육의 현황과 전망』(世界演劇教育の現況と展望) 平成26年9月 民俗院</p> <p>(学術論文等)</p> <p>1. “Tanedori” of Taketomi Island: Education of Performing Arts and Interrogational Transmission 平成23年5月. International Journal of Intangible Heritage, Vol.6</p> <p>2. 「伝統と文化」の教授を巡る教育制度と学校の関係性——沖縄県立八重山高等学校の教育課程の事例から 平成26年2月 『日本研究』(韓国・中央大学日本研究所)第36輯</p> <p>3. 学校のなかの八重山芸能——人の移動と八重山芸能の成立過程に注目して 平成27年12月 『国立歴史民俗博物館研究報告』第199</p>
<p>西洋音楽通史A</p> <p>西洋音楽通史B</p> <p>課題演習</p> <p>演習Ⅰ</p> <p>演習Ⅱ</p> <p>原典講読</p> <p>(研究所)</p> <p>演習Ⅰ</p> <p>演習Ⅱ</p> <p>原典講読</p> <p>民俗芸能論研究</p> <p>課題演習</p>	<p>向井大策准教授</p>	<p>(学術論文等)</p> <p>1. 「こだまする記憶——ベンジャミン・ブリテン《戦争レクイエム》における追悼 詩学」平成25年11月 『エオリアン論集——上野学園大学音楽文化研究センター』第1号</p> <p>2. 「ベンジャミン・ブリテンの《ヴェニスに死す》における声とこだま」平成27年3月 『上野学園創立110年記念論文集』</p> <p>(その他)</p> <p>1. 新日本フィルハーモニー交響楽団第435回定期演奏会(指揮:クリスティアン・アルミンク)プログラムノート 平成20年9月 『新日本フィルハーモニー交響楽団2008年9月演奏会プログラム』(76ページ)</p> <p>2. 水戸室内管弦楽団 第86 回定期演奏会(指揮:大野和士)曲目解説 平成25年1月 『水戸室内管弦楽団 第86 回定期演奏会』(27ページ)</p> <p>3. 〈歌曲の森〉第13篇 イアン・ポストリッジ(トツハンホール)プログラムノート 平成26年4月 『歌曲の森〉第13篇 イアン・ポストリッジ』(25ページ)</p> <p>4. 新日本フィルハーモニー交響楽団第537回定期演奏会(指揮:ハルムート・ベンシェン)プログラムノート 平成27年3月 『新日本フィルハーモニー交響楽団2015年3月演奏会プログラム』(40ページ)</p> <p>5. NHK音楽祭2016 バリ管弦楽団(指揮:ダニエル・ハーディング)曲目解説 平成28年11月 『NHK音楽祭2016 プログラム』(64ページ)</p>
<p>演習Ⅰ</p> <p>演習Ⅱ</p> <p>原典講読</p> <p>民俗芸能論研究</p> <p>課題演習</p>	<p>(久万田晋教授)</p>	

○教育の基礎的理解に関する科目等担当教員の主な業績（2019年度）

科目名	担当教員	科目に対応する主な業績
教職論	大城進	『教師と学生が知っておくべき教育動向』（共著） 「チーム学校構想と地域連携における教員の役割についての一考察－屋我地ひるぎ学園における地域学習の開発を例として－」
教職論	吉田安規良	『教職キャリアをゲットする まるごと全百科』（共著） 『複式学級指導法－単式学級内の学力差にも対応した現場の工夫にも役立つ指導法－』（共著） 『授業に活かす！理科教育法 中学・高等学校編』（共著）
教育原理	芳澤拓也	『危機のなかの若者たち』（共著） 『沖縄で教師をめざす人のために』（共著） 「教授学と汎知学－コメニウスの思想とその歴史的背景－」
教育原理	照屋信治	『近代沖縄教育と「沖縄人」意識の行方－沖縄教育会機関誌『琉球教育』『沖縄教育』の研究－』 「『沖縄教育』にみる「沖縄人」意識の形成－1910年代の親泊朝擢の言論に着目して－」 「『琉球教育』（一八九五－一九〇六）にみる沖縄教育の原型－新田義尊の沖縄教育論とそれへの対応－」
教育心理学	松田盛雄	「一般相談を活用した知的障害児施設に対する継続的処遇支援の試み」（共著） 「性犯罪の形態について－メディアリテラシーとの関係において」（共著）
教育心理学	島袋恒男	「中高生及び大学生の意志型・願望型尺度による進路発達の検討」 「高校生の意志型・願望型の意味ある他者と進路発達に関する研究」 「中学生における「生きる力」の心理学的検討 I -CAMI 理論を中心として」
教育心理学	嘉数朝子	「学級経営に生かすスキル研究Ⅳ－ストレスマネジメント教育のTT授業を通して」 「「気になる子ども」のスクリーニングに関する検討（1）」 「保育者の「ちょっと気になる子」の認識と保育に関する研究Ⅰ」 「中学校の学級経営に生かす社会的スキルの研究」 「Happy Victimizer 課題にみる児童期の他者理解の発達－沖縄県と東京都の比較－」
教育方法	芳澤拓也	「コンピテンシーベースの「資質・能力」論を軸とした学習、教育課程、学校の再編」 「学校現場における ICT 教育の実践－宜野湾市情報教育研究会、沖縄県教育委員会研究指定校実践報告会、長嶺中学校美術科に見る電子黒板の活用法－」
教育方法	小嶋季輝	『教育実践と情報メディア』（共著） 「高等学校普通教科「情報」における学習情報処理に関する研究：「共学習」場面への学習サイバネティクスのアプローチ」 「反転授業の新規導入過程における困難性に関する要因分析：形式に基づく教材制作の課題検討」

情報処理教育	谷口祐治	「初等教育における情報活用能力育成のための Web 検索支援システムの試作」 「ブレンド型 e ラーニングを活用した教育実践」 「Web 連携型データベースを用いた情報教育支援システムの開発及び評価」
教育行政	照屋信治	藤澤健一編『沖縄の教師像—数量・組織・個体の近代史』 「「沖縄方言論争」と『沖縄教育』誌上の「標準語」教育論—「混用」という可能性—」 「沖縄教育における「文明化」と「大和化」—太田朝敷の「新沖縄」構想を手がかりとして—」
学校カウンセリング	松田盛雄	「処遇共助を活用した性同一性障害を有する受刑者への継続面接の試み」 「被害者の視点を取り入れた教育」のプログラム検証と心理援助について」 「「被害者の視点を取り入れた教育」のプログラム検証（その2）」
教育課程	芳澤拓也	「コンピテンシーベースの「資質・能力」論を軸とした学習、教育課程、学校の再編」 「学校現場における ICT 教育の実践—宜野湾市情報教育研究会、沖縄県教育委員会研究指定校実践報告会、長嶺中学校美術科に見る電子黒板の活用法—」
教育課程	小嶋季輝	「日常知と学校知の連続性に関する一考察: ID 崩しを手がかりとして」 「学習の客体としての知識, その基本的性質: 知識の獲得状況を手がかりとして」 「学習のヴァナキュラム」 「概念主義と学習者現実の理論的基礎付け: Polanyi の理想に求める学習の主観性研究の展望」
生徒指導論	松田盛雄	「一般相談を活用した知的障害児施設に対する継続的処遇支援について」 「性犯罪の形態について—メディアリテラシーとの関係において」
美術科教育法 I	瑞慶山昇	「東京美術学校で学んだ平田善吉」
美術科教育法 II	瑞慶山昇	「宮古島の絵画同人「二季会」の画家 I—下地明増と本村恵清—」
美術科教育法 III	瑞慶山昇	「古島の絵画同人「二季会」誕生と画家、平野長伴」 「新しい学習指導要領と美術科、芸術科（美術）教育」
工芸科教育法	赤嶺善雄	
音楽科教育法 I	大山伸子	「明治の洋楽草創期における幼児唱歌集に関する研究」 「リトミック音楽教育の実践—身体即興表現を中心に—」 「宮良長包の音楽教育活動に関する研究（9）—校歌作品の継続研究—」「宮良長包の音楽教育活動に関する研究（8）—教育誌『教育音楽』を手掛かりに—」
音楽科教育法 II	小波津繁雄	「模擬授業を軸としたカリキュラム構想とピアノ演奏・歌唱、器楽の力量の向上—中・高校の音楽科授業における創造的な授業をめざして—」
音楽科教育法 III	小波津繁雄	「資質・能力の「三つの柱」を育む音楽科、芸術（音楽）の構造と構想」 「心揺さぶる校長講話を目指して」
道德教育の研究	芳澤拓也	「「特別の教科 道德」の構想—目標、学習の過程、評価—」 「道德教育の方法論をめぐる理論的展開—コールバーグまでとコールバーグ以後—」
道德教育の理論及び指導法	芳澤拓也	

道徳の指導法	上地完治	『教育哲学の課題 「教育の知とは何か」—啓蒙・革新・実践』（共著） 『子どもを学びの主体として育てる—ともに未来の社会を切り拓く教育へ—』 (共著)『道徳教育指導論』（共著）
特別活動	芳澤拓也	『沖縄で教師をめざす人のために』（共著） 「学舎融合をめぐる三つの実践モデル」 「新しい学習指導要領における特別活動の論理」
特別活動	新里健	『やってみよう ソーシャル・スキル・トレーニング33—学級経営に生かすSST』（共著） 『教職をめざすひとのための発達と教育の心理学』（共著）
教育実習 (長期)	松田盛雄	「一般相談を活用した知的障害児施設に対する継続的処遇支援について」 「性犯罪の形態について—メディアリテラシーとの関係において」
教育実習 (短期)	芳澤拓也	『危機のなかの若者たち』（共著） 『沖縄で教師をめざす人のために』（共著）
教職実践演習 (中・高)	松田盛雄	「一般相談を活用した知的障害児施設に対する継続的処遇支援について」 「性犯罪の形態について—メディアリテラシーとの関係において」
	芳澤拓也	『危機のなかの若者たち』（共著） 『沖縄で教師をめざす人のために』（共著）